



東京ガス株式会社 2007年度第1四半期決算説明会

2007年7月27日

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場、原油価格の変動ならびに天候の異変等があります。

2007 年度 第1四半期決算のポイント

■ 対前第1四半期比 増収減益

<プラス要因>

- ・ 商業用・工業用・卸供給におけるガス販売量の増加
- ・ 原料費調整制度による売上単価増

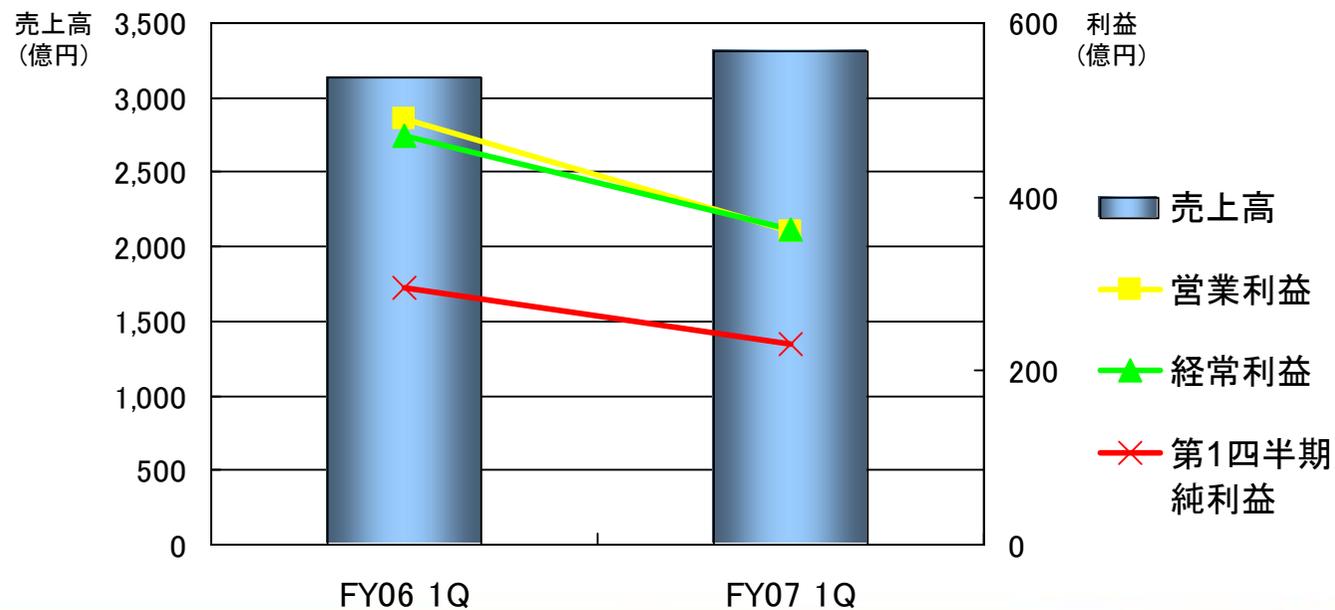
<マイナス要因>

- ・ 原材料費の増加
- ・ 退職給付引当金の数理差異償却の増加
- ・ 税制改正による減価償却費の増加

決算総括 (対前第1四半期)

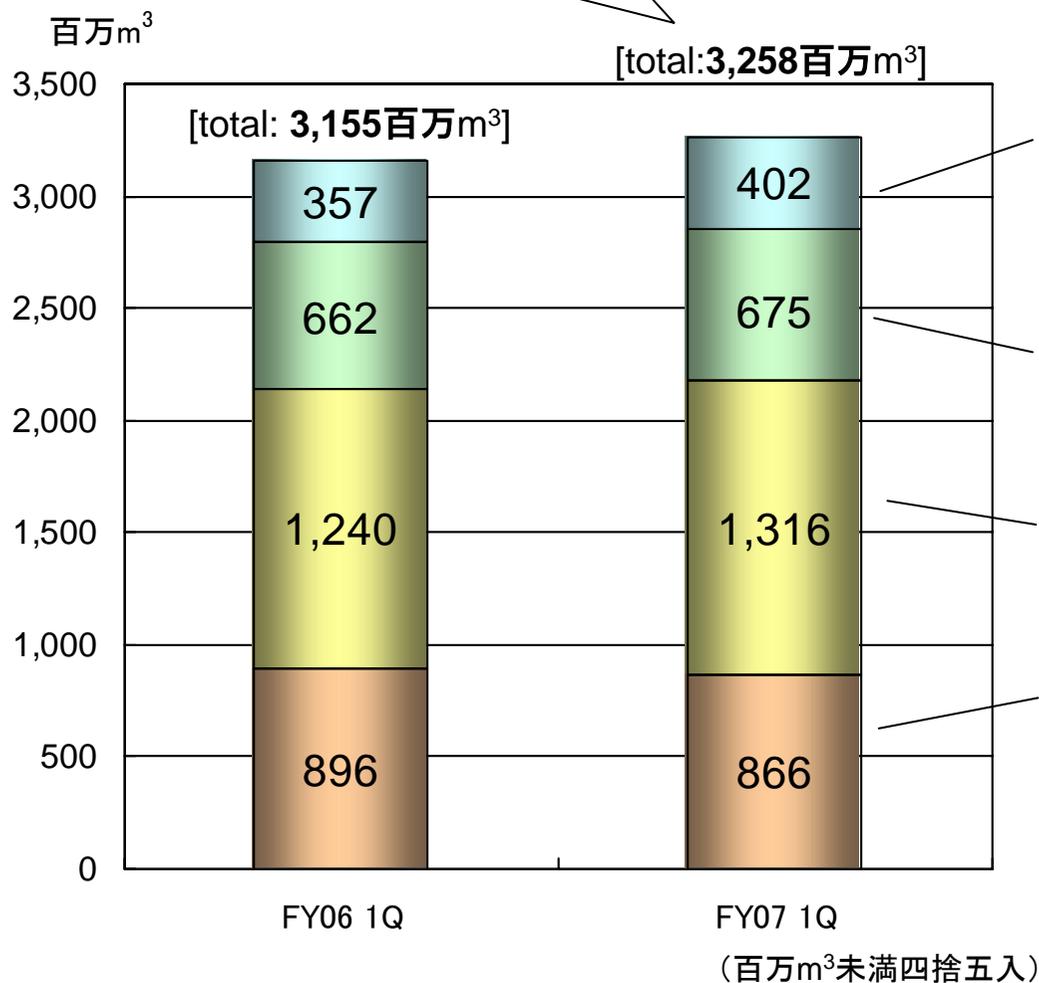
(億円未満切捨て)

	FY06 1Q	FY07 1Q	増減
売上高	3,129	3,312	+183(+5.9%)
営業利益	489	361	-128(-26.2%)
経常利益	471	362	-109(-23.0%)
第1四半期純利益	295	230	-65(-21.9%)
原油価格(\$/bbl)	64.94	64.53	-0.41
為替(円/US\$)	114.50	120.82	+6.32
気温(°C)	18.4	18.9	+0.5



ガス販売量実績 (対前第1四半期)

前第1四半期比**3.3%増**
(+103百万m³)



[FY06 1Q → FY07 1Q 増減要因]

卸供給 +12.6% (+45百万m³)

- ・供給先事業者の新規需要開発および既存お客さまの引取量増

商業用その他 +2.0% (+13百万m³)

- ・新規需要開発および既存お客さまの稼働増

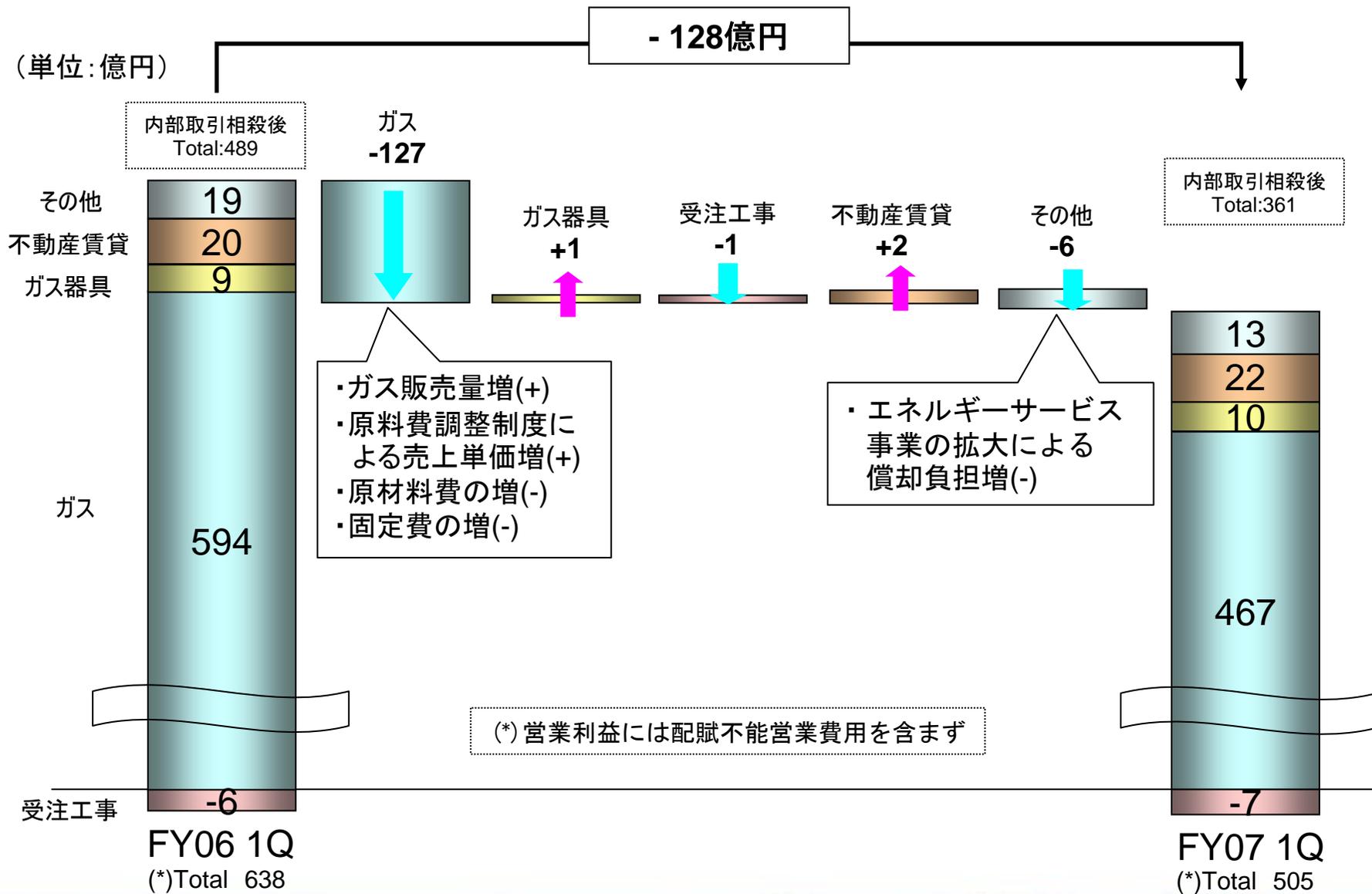
工業用 +6.1% (+75百万m³)

- ・新規需要開発および既存お客さまの稼働増

家庭用 -3.4% (-30百万m³)

- ・お客さま件数の増
- ・高気温による給湯需要の減少

営業利益増減要因



2007年度決算見通し(通期、対前年・計画)

(億円未満切捨て)

	FY06実績	FY07計画 (4/26時点)	FY07見通し (7/27時点)	増減	
				対前年	対計画
売上高	13,769	14,190	14,540	+771(+5.6%)	+350(+2.5%)
営業利益	1,623	1,130	1,050	-573(-35.3%)	-80(-7.1%)
経常利益	1,560	1,050	970	-590(-37.8%)	-80(-7.6%)
当期純利益	1,006	730	680	-326(-32.5%)	-50(-6.8%)
原油価格(\$/bbl)※	63.45	55.00	66.15	+2.70	+11.15
為替(円/US\$)	116.97	120.00	120.20	+3.03	+0.2

※ 7月～9月を70\$/bbl、10月～3月を65\$/bblとする

【ガス販売量 用途別】

(単位:百万m³)

	FY06実績	FY07計画 (4/26時点)	FY07見通し (7/27時点)	増減	
				対前年	対計画
家庭用	3,452	3,527	3,538	+86(2.5%)	+11(+0.3%)
工業用	5,336	5,550	5,666	+330(+6.2%)	+116(+2.1%)
商業用他	2,972	3,075	3,098	+125(4.2%)	+23(+0.7%)
卸供給	1,554	1,733	1,729	+175(11.3%)	-4(-0.2%)
合計	13,315	13,885	14,031	+716(5.4%)	+146(1.1%)